

相次ぐ台風、豪雨災害で被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。

今年、9月以降に台風が相次いで日本に接近・上陸しました。

9月9日に千葉県に上陸した「台風15号」は、観測史上最強クラスの勢力となり、千葉県を中心に甚大な被害を出しました。1都6県で、死者1人、重傷者11人、軽傷者137人。全壊142戸、半壊1,605戸、一部損壊29,030戸などとなっています。千葉県市原市ではゴルフ練習場のネットの鉄柱が風圧によって倒壊し、近隣の10戸ほどの家屋に覆いかぶさる倒壊事故が発生しました。

また、本年9月20日から沖縄・九州・中国地方に接近した「台風17号」は、沖縄から北海道までの16道県で、死者1人、負傷者65人、住宅被害601棟という大きな被害を出しています。

そして、10月12日に東日本に上陸した「台風19号」は39都道府県に被害をもたらし、死者93人、行方不明7人となっています（11/3現在）。

今回の「台風19号」では、「河川決壊」は7つの県合わせて71河川、140か所にも のぼり、「越水」などで氾濫が発生した河川も16都県で延べ281河川に上っています。

こうした河川氾濫等の被害により、全国で8万6,000棟あまりの住宅が、全半壊、一部損壊、浸水などの被害を受けています。更に、土石流や崖崩れなどによる「土砂災害」は、20都県で661件発生しており、いまなお3,100人を超す方々が避難所生活を余儀なくされています（11/3現在）。

政府は、今回の「台風19号」災害について、10月29日、『大規模災害復興法』に基づく「非常災害」に指定しました。法律に基づく「非常災害」として指定された災害は『熊本地震』に続き2例目です。また、「台風19号」災害は「激甚災害」にも指定され、「非常災害」と「激甚災害」への指定は11月1日に公布・施行されました。

更に、10月25日の大雨では、千葉県で9人、福島県で1人の合わせて10人がお亡くなりになられています。

お亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災に遭われた全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

地球温暖化による気候変動は、あらゆる動植物の生存に抜き差しならない状況を生んでいる！

2019年、スウェーデン人の環境保護活動家のグレタ・トゥンベリさんは、地球温暖化によってもたらされるリスクを訴え、「地球温暖化によって引き起こされた危機は非常に深刻であるため、人類は生存の危機に直面している。私たちが知っているような文明を終わらせる可能性が最も高い」と主張し、「あなたたち大人は私たちの未来を盗んでいる！」などの声明を世界中に発信し、現在の世代の大人に責任と、その解決を突き付けています。

過去には、カナダのセヴァン・スズキさんが、1992年6月、12歳のとき、「リオデジャネイロ環境サミット」に際し、子どもの視点からの環境問題について演説、満場の拍手喝采を博し、その映像は後にバイラルビデオとなり、「世界を5分間沈黙させた少女」として世界中で有名になりました。いわゆる「セヴァン・スズキの伝説のスピーチ」です。



セヴァンは、「地球温暖化による気候変動は、地球上のあらゆる動植物の生存に抜き差しならない影響を与えている」と訴え、CO2等温室効果ガスの削減を求めました。

セヴァンの演説から27年、いまだ人類は地球温暖化に対して明確な対策も行動も行えずにいます。いま、グレタ・トゥンベリさんの声にいかに応えるか。人類の英知が試されています。

↑2002年11月17日『デポジット法制化を求める会』講演会にてセヴァン・スズキと写る
「YES！セヴァン・ツアー2002 ～あなたは子どもたちのために、なにを残しますか？～」